

郷土こぼれ話

地域の神様 伊奈利神社の神々

① 伊奈利神社

・ 祭神＝倉稻魂命（うかのみたまのみこと）
稲の精霊が神格化されたもので、五穀、食物を司る。ご利益として、五穀豊穰・商売繁盛・家内安全・養蚕繁昌が挙げられています。右の写真では、一の鳥居、二の鳥居、その奥に拝殿が見られます。



○ 神輿殿 一番左にあ

るのが、神輿殿です。中に2体の神輿がありますが、外に出すと大水になると伝えられています。入り口から格子を通して中の様子を垣間見ることができます。

神輿殿-荒神社-八幡神社-神庫

② 荒神社

・ 荒神とは、民間信仰において台所の神様として祀られている神格の一つと言われています。ご祭神は、道祖神・奥津彦命・奥津姫などと言われます。神道、密教、道教、陰陽道等にそれぞれ火の神や竈の神があり、それらが融合することもあると思われます。五穀、食物の神伊奈利さまと火、台所の神荒神さまが、人々から同じように畏敬の念をもって祀られたことは想像に難くないでしょう。

③ 八幡神社

・ 祭神は八幡神（はちまんしん・やはたのかみ）。別名を菅田分命（ほんだわけのみこと）といわれます。平安時代後期以来、清和源氏や桓武平氏など全国の武家から武運の神（武神）として崇敬を集めたと言われていました。応神天皇であるという説もあります。また、古くは神仏習合により八幡大菩薩として寺に安置されたこともあると言われています。

○ 神庫

神社に関する品物が保管されています。主なものとして、大小の太鼓、鳥居に使われた木材の一部が認められます。

④ 巖島神社

巖島神社は、宗像三女神（むなかたさんじょしん）を祀って建立された神社と言われています。三女神は天照大神（あまてらすおおみかみ）と素戔嗚尊（すさのおのみこと）の誓約のとき天の安河（あまのやすかわ）で産まれたと伝えられています。

このうちの市寸島比売命（いちきしまひめのみこと）は神仏習合で弁財天と合わせ、崇敬を集めました。巖島神社が弁財天または弁天さまと呼ばれるのはそのためです。

巖島神社のご利益は、まず「交通安全」です。ほかにも家内安全・試験合格・商売繁盛・航海安全・縁結びなどがあります。

○ 社殿の裏にある祠

神の分からない祠が社殿の裏にあります。屋根の部分は、コンクリートのようにも見えます。氏神さまが移されたのかも知れません。



文・写真：むらた ひとし